

平成27年6月定例会 一般質問通告事項 6月23日（火）

※一人の持ち時間は執行部の答弁を含め1時間で、午前10時から始まります。

1番 重松 一英 議員

1. 桂川流域の治水対策について

- (1) 平成24年7月の九州北部豪雨災害により甚大な被害を受けた蜷城地区の桂川水門への強制排水ポンプの設置について

2. 学童保育所の現状について

- (1) 平成27年4月から子ども・子育て支援制度の開始を受けて、学童数の少ない地域の学童保育所の開設について

2番 富田 栄一 議員

1. 共助の課題とこれからについて

- (1) 市が進める共助の最小限の行政単位は「区」である。区に加入していない世帯への市としての考え方はどうか
- (2) 具体的に、災害対策（ハザードマップと避難）・環境（ゴミ回収）・市情報（広報紙）・福祉の課題など行政サービスをこれからどうしていくのか。共助を進める方向性と指導について
- (3) 災害時の共助として第一に、消防団がある。朝倉市の人口推計を考えると、20年後には半数以上の地区で消防団を構成している年齢層の人口が3割以上減ると予測した。きびしい現実がある。このままでは、将来消防だけでなく共助の限界が来るのではないかと。市庁舎を建て替えようと考えている今、行政サービスのあり方、安全安心、福祉などを共助中心では将来限界がくるであろう。どう考えているのか

2. 庁舎建設と人口増政策について

- (1) 消滅の可能性がある地方自治体と言われて庁舎建設に工夫された東京都豊島区のように朝倉市は庁舎建設と人口増政策を考えてはどうか
- (2) 人が住みたい環境とは、安全安心、利便性ではないか。朝倉市の人口増政策の課題は何か

3. 新設学校建設について

- (1) 新設小学校建設スケジュールによると、急傾斜事業の着工が1年以上後になる。朝倉市の考えはどうか。保護者にいつどう説明するのか
- (2) 3月議会において、新設学校関連の予算で2重投資にならないよう賛成意見を述べた。大きな課題と考える新設小学校建設での水路設計条項は、どうなっているのか
- (3) 台風により北部九州の梅雨前線が活発化される予報があった。ゲリラ豪雨に対する学校現場のマニュアルはどうつくっ

ているのか

- (4) 災害経験地域での学校建設は、10年確率で良いのか。杷木4コミュニティの避難場所については、朝倉市が現小学校を避難場所として責任もって残し管理すると考えていいのか

～ 昼食 ～

3番 和田 庄治 議員

1. 国民健康保険税について

- (1) 制度変更はいつからどのように変わるのか、その変更に伴って、朝倉市の国保税を引き下げるべきではないか

2. 地域公共交通について

- (1) 今後、バス路線の継続維持について
- (2) 公共交通従事者の雇用を守るためにどのように考えているのか

3. 住宅リフォーム制度について

- (1) 予算を上回った場合はどのようにするのか、補正予算を増額し、住民要望に最大限こたえるべきではないか

4番 大庭 きみ子 議員

1. 教育行政について

- (1) 子どもの貧困について
 - ① 子どもの実態把握
 - ② 子どもの貧困と教育格差について
 - ③ 教育格差是正への取り組み
- (2) 平和教育への取り組み

2. 人口減少対策について

- (1) 朝倉市独自の取り組みについて
 - ① 「まち・ひと・しごと創生」推進について
 - ② 若者に魅力ある地域拠点都市づくり

5番 梶原 康嗣 議員

1. 防災・減災について（大丈夫か災害に強いまちづくり）

- (1) 土砂災害警戒区域
 - ① 急傾斜地崩壊対策事業について
 - ア) 目的
 - イ) 採択条件
 - ウ) 区域の指定
 - エ) 費用負担
 - オ) 今後のスケジュール等
 - ② 避難訓練をしたが、その成果、課題は何か

2. 朝倉市が発行・管理する冊子、パンフレットについて

- (1) 一定年数で見直しは実施しているのか

平成27年 6 月定例会 一般質問通告事項 6 月24日（水）

※一人の持ち時間は執行部の答弁を含め1時間で、午前10時から始まります。

1 番 佐々木 明子 議員

1. 子育て支援事業

- (1) ファミリーサポートセンターあさくらの充実
- (2) 杷木新設小学校開設に伴う学童保育所設置について

2. 過疎地域自立促進事業

- (1) 子どもを安心して産み育てられる地域づくり事業推進をふまえて、松末保育所への方策を問う

3. 杷木中学校敷地の安全性の確保

- (1) 急傾斜地土砂災害警戒区域に指定されている杷木中学校敷地の安全対策並びに排水対策の進捗を問う

2 番 小島 清人 議員

1. 朝倉市下水道基本構想計画について

- (1) 下水道基本構想計画の進捗状況について
- (2) 単独公共下水道（2）の整備計画について

2. 企業誘致について

- (1) 企業誘致の状況について
- (2) 企業誘致対策について

3. 小田茶臼塚古墳について

- (1) 古墳の文化財としての価値について
- (2) 古墳の整備計画について

4. 人口減少時代の自治体経営の在り方について

- (1) 朝倉市の人口減少の実態と定住化施策について
- (2) 日本の将来人口推計等の課題と具体的施策について

3 番 実藤 輝夫 議員

1. 大型事業と財政の見通し

- (1) 今後予定される大型事業と将来の財政見通し

2. 入札制度の課題

- (1) 各種事業と入札制度の現状と課題

4 番 中島 秀樹 議員

1. 「親と子と孫が一緒に暮らす朝倉市」について

- (1) 3世代同居を推進すべきである

2. コミュニティの高齢化について

- (1) 協働は維持できるのか

5 番 村上 百合子 議員

1. 公共施設のマネジメントについて

- (1) 公共施設の管理策定について
- (2) 公共施設の機能整理と評価について
- (3) 公共施設の長寿命化対策について

2. 成人用肺炎球菌ワクチンの勧奨について

- (1) ワクチン予防接種の進捗状況について
- (2) 市の勧奨対策について
- (3) 成人用肺炎球菌ワクチン予防接種助成について

3. 子育て支援対策について

- (1) 妊娠・出産・産後ケアについて
- (2) 出産祝金について
 - ① 第1子10万円、第2子20万円、第3子50万円
- (3) こどもの通院医療費助成を小学校3年生まで拡充することについて

平成27年 6 月定例会 一般質問通告事項 6 月25日（木）

※一人の持ち時間は執行部の答弁を含め 1 時間で、午前10時から始まります。

1 番 鹿毛 哲也 議員

1. グローバル化に対応した新たな英語教育の在り方について
 - (1) 現状と課題について
 - (2) 朝倉市独自の A L T の増員などではないのか
2. 地元木材の有効活用について
 - (1) 日田市の「木づかい促進事業」について
 - (2) 朝倉市も取り組みができないのか
3. 廃校や空き庁舎の有効活用について
 - (1) 朝倉市の現状と課題について
 - (2) 福岡県の補助金を有効活用し、企業誘致につなげられないか
4. コミュニティサイクルについて
 - (1) 朝倉市の取り組みについて
 - (2) これを導入することで、観光と生活の両方にメリットがあるが、社会実験として導入できないのか